



ROTARIANS
UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン
奉仕に結束
平和に献身



会長 吉野 勲 幹事 板垣広志 クラブ奉仕 高橋良士 職業奉仕 飯野準治 社会奉仕 佐藤元伸 国際奉仕 阿蘇司朗 青少年奉仕 菅原辰吉

出席報告：会員 79 名 出席 50 名 出席率 78.13% 前回出席率 76.56% 修正出席 58 名 確定出席率 90.63%

会長報告

吉野 勲 君

9月26日・27日の二日間、本年度地区最大のイベントであります年次大会が会津若松市に於いて、地区内ロータリアン外交換留学生、インターアクト等を含め1,600余名が相集い盛大にとり行われました。会長・幹事会が午前10時よりと云う事でしたので、私と幹事は午前4時に出発しました。出発時は丁度折悪しく雨でしたが、幹事の計算通りの運転で会場となりましたワシントンホテルには9時すぎ到着致しました。

早速会長・幹事会が行われ、志藤ガバナーの点鐘に始まり、型通りのセレモニーと歓迎の言葉のあと東京日本橋R.C松平一郎R.I会長代理のあいさつがあり、約1時間で終わりました。引続き新ポールハリスフェロー、新米山功労者の方々と合同昼食があり、午前の部は終わりました。会場を市民会館に移し本会議第1日目が始まりました。この時には関原団長以下当クラブのメンバーと合流し、総勢20名近い方々と一緒に会議にのぞみました。

午後1時点鐘、式次第にのっとり会議が進み、松平R.I会長代理のメッセージ、各種委員会報告、登録委員会、資格審査委員会、選挙委員会、決議委員会、決議採択の報告があり、決議事項については次の8つの議案でありました。

- ① チャールズ C ケラー国際ロータリー会長の本年度方針に協力する件。
- ② 国際ロータリー会長代理派遣に対する感謝の件。
- ③ 志藤和夫地区ガバナーの強調する本年度の奉仕目標に賛同し推進する件。
- ④ 直前ガバナー九里茂三氏に感謝の意を表する件。
- ⑤ ホストクラブ、コホストクラブ並に協力団体に謝意を表する件。

- ⑥ 会津若松市に記念品を贈呈する件。
- ⑦ 1994年国際大会大阪招致の件。
- ⑧ 1988～1989年度地区大会をいわき市に於いて開催する件。

以上8案件は満場一致で可決されました。

次に、新ガバナーノミニーの紹介があり、新ガバナーノミニーには酒田東R.Cの村上七五三夫氏が指名され、新ガバナーノミニーの挨拶があり、本会議が終り、続いて鶴ヶ城本丸広場での園遊会の予定でしたが、折角の園遊会も雨となり、急拠平安閣に変更されましたが、会員一同朝早い出発でしたので、宿泊予定となっておりました東山温泉でゆっくりしようという事で、東山の原滝ホテルに向い、その晩は関原団長の名司会のもと懇親の和を深め、時間のたつのも忘れ楽しい一夜を過ぎて参りました。

第2日目は、布施君、佐々木君、藤川君の3名の方が職業奉仕が忙しく朝早く帰られましたが、本当にご苦労様でございました。

2日目の本会議は先づシンポジウム「いま職業奉仕に求められるもの」のテーマでモデレーターに九里茂三P.G、パネラーには東京池袋R.C、P.G青木清明先生、もう一人のパネラーにはP.G浜田幸一氏の3名で行われました。青木先生は「ロータリーとは最も多く奉仕するものは最も多く報われる」とは職業の倫理であり、職業奉仕こそロータリーの看板である。しっかりした安定した経営にするには、日常きびしい戦であるロータリーを生涯の生活教育の場にしてもらいたいとの事でした。続いて表彰に移り、鶴岡クラブは山口年度の功績で会員増強優秀クラブとして表彰を受けてまいりました。ここに立派な盾が飾ってありますのでご覧下さい。又、新ポールハリスフェローには小松広穂君、笹原信一郎君、佐々木喆彦君、碓氷節雄君、石川寿男君、以上5名

庄内空港の建設を推進しましょう

の方々が表彰され、次に20年間皆出席表彰には三井賢二君、10年間皆出席者に石川寿男君、菅原辰吉君のお二人が表彰され、表彰バッチを頂いて参りましたので後程お渡し致します。

次期開催地の紹介があり、次期開催地のいわき平の会長さんの挨拶があり午前の部が終ったところで時間の関係もあり、折角の記念講演・杉山義法先生の「私のドラマづくり」白虎隊の裏ばなしは割愛し一同無事故無違反で午後6時半帰って参りました。非常にお忙しい中ご参加頂きました会員諸兄に感謝申し上げます、年次大会のご報告とさせていただきます。

有難うございました。



幹事報告

板垣広志君

○立川R.C例会時間変更

10月1日(木) 12時15分を午後6時30分点鐘

○10月11日(日)、八幡中央公民館で本年度のI・G・Fが行われます。御参加の皆様の御氏名を発表させていただきます。

吉野 勲君・板垣広志君

高橋良士君・佐々木喆彦君

中江 亮君・鈴木茂男君

佐藤 衛君・高田耕助君

碓水節雄君・皆川光吉君

佐藤順治君・秋野 忠君

市川寿男君・市川輝雄君

富田孝一君・塚原初男君

です。会長と相談致しましてI・G・Fの団長には佐々木喆彦君を指名させていただきたいと思えます。当日の行く方法、出発時間等は団長よりあとで詳しく連絡あると思えますのでよろしく。

プログラム委員会

＜新入会員スピーチ＞

私のロタリ

莊司俊治君



私は去る6月30日に当クラブに入会となりましたが、私のロータリー歴としては昭和38年3月から44年3月までの6ケ年、又、49年11月から52年3月まで2年4ケ月、合せて8年4ケ月間ロータリーの皆さんにお世話になってきたものです。

又、これに加えれば、私の亡父が当クラブ設立当時より数年間大変お世話になっておりましたので、その家族の私ですので当R.Cには永いお付き合いであったこととなります。

私自身のそもそものロータリーの始まりは、荘内銀行在職中でありまして、それも内陸地方の店舗、

天童でありました。当然のことですが、初めてお会いする方達であり、言葉、方言も結構違う環境の中でロータリーに加入したのですが、地域の著名な方々と週1回の例会は大変早く、それ等の方々との交流、ふれ合いが出来ましたし、又私自身をも知っていただく機会ともなりました。当時の天童クラブは設立してやっと10年という時でしたので、クラブ活動としては会員、又その家族の親睦には事の外活発だったように記憶しております。ロータリーのスローガンの一つである“好意と友情を深める”親睦即ち信頼ということになろうかと思えます。

私はロータリーに加入して一番に感じたことは、ロータリーを通しての多くの方々との良きふれ合いでありました。特に私は天童での家族会には、親子ロータリアンとしての参加の機会もあって、事の外

忘れ得ぬ思い出が、昨日の事のように心に残っております。この親睦という点でもう一つの思い出、感謝することがございます。それは、新潟南R.Cにお世話になっていた当時の事です。父を亡くした直後でしたので、母を時折新潟に連れて行ったのですが、たまたまロータリーの家族会に連れて行きましたが、見知らぬ人ばかりの中で結構鶴岡弁まる出しで隣の席の方々と会話していましたが、これも父と一緒に何回となくロータリーの家族会に出席していた為でしょう。家族の母にもロータリーの親睦・友情のマナーがそれとなしに出来ていたのかなと思ひ、ロータリーのスローガンも永い歴史のなかで築かれ、心となっているのだなと、つくづく思われたものでした。88才になる母は、今でも時折当時のアルバムを開いては、その頃の思い出を語っております。やはり、あの時母を連れて行って良かったと今でも感謝しております。

ロータリーのスローガンであり、金看板でもあります奉仕の理想、職業奉仕があります。これは、自分の仕事を通して、社会への奉仕ということでしょうが、なかなか難しいことです。然しどのような仕事についても、責任ある仕事につけば、それだけ大切な基本的な心構えと思ひます。このことで二つの言葉を思い出します。一つは、天野貞祐先生の“光り”をみた人は、その“光り”を社会にも知らせることが必要である。今一つは、銀行の大先輩に聞かされた言葉ですが、おカネを数え、算盤をはじき帳簿をつけるのは、それは銀行員で、社会に、又お人様に奉仕する心をもって接し仕事をやってこそ、バンカーと云えるのだ。と云うことでした。奉仕の理想こそ企業であれば繁栄をもたらす要因の一つであり、私達個人の日常生活にあっては余韻の心をもって生き甲斐ある日々を送る源となるのではないのでしょうか。私は昨年6月から縁あって荘内日報社に勤めておりますが、当社は地域の唯一の日刊ローカル紙であり、地域の皆さんに正しい情報の提供、地域の問題提起等々、報道機関としての大きな責任を帯びておりますが、この職務をなんとか果すにもロータリーの四つのテストをよくよく噛みしめ頑張っただけでゆきたいと思っております。どうぞよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

ご清聴有難うございました。

地区年次大会の報告

関原亨司君

タイムイズマネーと言うことで、短的に一言。内容は会長が報告した通りです。朝6時出発しまして6時間少々、距離にして230km位あったと思ひます。その中でスピード違反、追越禁止違反もなく順調に到着致しました。

先程会長が省いていましたが、園遊会が雨で中止になりましたので、温泉につかりながらということで夜は宴会に重点を置きました。原の町のキレイどころを2人ばかりおまねきしまして…その中で、荒城の月、女白狐隊を見せてもらひ、有意義な一時を過ぎていただきました。機会がありましたら私も女白狐隊を披露させていただきます。

ありがとうございました。

地区年次大会の記念講演を聞いて

高橋良士君

講師 杉山義法氏 シナリオライター

「私のドラマづくり」 白虎隊裏ばなし

主な作品

日本テレビ年末時代劇スペシャル

60年 忠臣蔵

61年 白虎隊

NHK日曜大河ドラマ

44年 「天と地と」

46年 「春の坂道」

NHK新大型時代劇

59年 「宮本武蔵」

61年 「武蔵坊弁慶」

その他、NHK朝のドラマ風見鶏など

帝劇「遥かなり山河」

シナリオライターになるための条件

① 胃が丈夫であること

② 30才までは女房に食わせてもらわなければならない。

③ 才能

シナリオを書くに際しては

① 内容は中学生位のレベルにおくこと。

② 登場人物はなるべく子孫がとだえている方が書き易い。

③ 登場する英雄（人間像）をなるべく自分自身

(作者)に近づけてゆく努力をする。

1. 忠臣蔵

現在まで日本人が2百年もの歳月をかけて練りに練り上げた作品でもある英雄伝であるだけに、今まで見逃された資料で新しい視点でとらえた。大石内蔵助を平凡な普通の男としてとらえたのが好評であった。中でも匠頭刃傷の知らせを受けた内蔵助が城内広間につめかける藩士をよそに丸一日自宅の土蔵にこもって、殿は何んと軽卒なことをしてくれたのか、350人の藩士とそれに倍する家族を含めてこれから我々の命が、生活が一体どうなるのであろうかと、ぶつぶつ一日中内蔵助が自宅の蔵の中でくどいているシーンが企業の管理職や労組の幹事から多くの共感を寄せられたそうである。

2. 白虎隊

杉山氏は新発田の出身で、少年時代飯豊山や会津からみれば裏側を見て過した。

新婚時代に会津を訪ずれ、是非いつかは白虎隊のシナリオを書いてみたいという夢をもっていた。

白虎隊を知らない若い人達に理解される様に複雑怪奇にゆれ動いた幕末の様相と会津藩の立場をいかに分り易く描くかと腐心したそうである。これが理解されないと白虎隊の少年達の集団自決が決して理解されないと危惧したが、放映の結果では中学生から多大の反響が寄せられたそうである。

以上、時代劇のシナリオ作製に際しては如何に英雄といえども、或は高い地位についた人でも、少年時代に描いたロマンとは自分の到達した地位をみておそらく80%は「心ならずも」という思いが殆んどではなからうか? こういった「心ならずも」といった心情をベースにして、登場人物である英雄を描いている。

雑誌委員会

津田晋介君

ロータリーの友事務所、ロータリーダイアリーとカレンダーを希望者におわけするという広告が来ております。コマーシャルを少し。

紙質は大変良いようです。ダイアリーは毎日書くものですから紙質の良いのが何よりと思われま。万年筆、ボールペン何で書いても快適に書けるとは最高。カレンダーも最高のもので、皆様のオフィスや事務所にはピッタリと似合うと思います。ダイア

リーは1,000円、カレンダーは500円、利益を見ていないので価値があります。買わないと損です。べ切は10月5日迄、事務局の斎藤さんまで申し込んで下さい。部数が限られていますのでお早めに。

スマイル

阿蘇司朗君 二男の結婚式がありました。ロータリーの代表の方からも出席をいただきましてありがとうございます。又、丹下さんからは名司会をありがとうございました。

山口篤之助君 年次大会で昨年度の会員増強優秀クラブとして表彰受けました。増強委員始め会員の皆様の労力に感謝しまして。

吉野 勲君 山口篤之助君と同じで。
布施隆夫君 地区年次大会に行き同行の皆様に対しミスをし、特に関原君に御迷惑をおかけしまして。

丹下誠四郎君 阿蘇さんの二男の結婚式の司会をさせていただきます。

張 紹淵君 酒田の20周年記念の時、旧友が若若しく頑張っていました事と、阿蘇さんの結婚式によられたこと、台湾の友人と会えたことも合せて。

清水二郎君 10月17・18日高専で文化祭(鶴峰祭)を行います。ハイテクフェアをやりま。日本の代表企業が30社ばかり来ていただき、又、地元の企業の協力を得て先端技術のご紹介をします。人工ダイヤモンド、超電の材料のしくみ、バイテクのしくみ等、清家先生(建築家)の特別講演もあります。(市民文化会館)是非ご来校のほどを、宣伝をさせていただきます。

三井 徹君 アメリカ、カナダに行き来しましたので。向うのロータリークラブの会長さんが皆様によろしくとのこと。バナーをいただきて来ました。

ビジター

鶴岡西R.C 井上 彬君、石黒慶一君
立川R.C 滝 禅源君